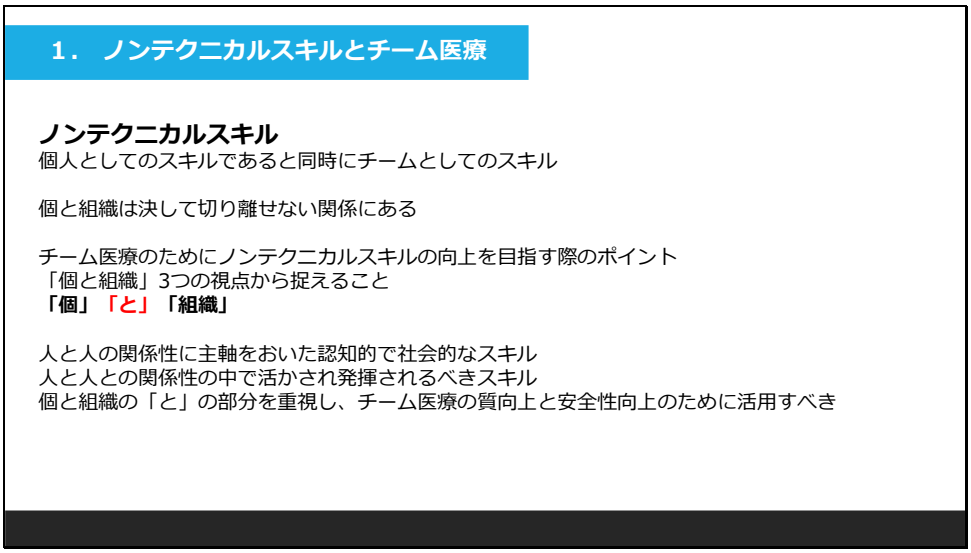
スライド 1



スライド 2



1． ノンテクニカルスキルとチーム医療

ノンテクニカルスキルは個人としてのスキルであると同時にチームとしてのスキルでもあります。個と組織は決して切り離せない関係にあります。

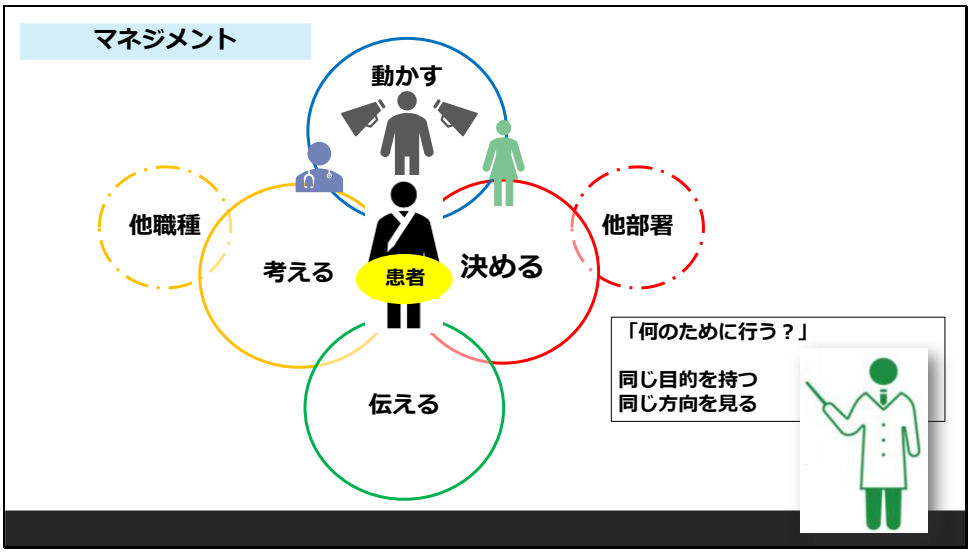
チーム医療のためにノンテクニカルスキルの向上を目指す際のポイントは、「個と組織」という部分を 3 つの視点から捉えることです。

その 3 つの視点とは、「個と組織」の「個」「と」「組織」の 3 つです。とりわけ重要なのは「と」の部分になります。

そもそもノンテクニカルスキルとは、**人と人の関係性に主軸をおいた認知的で社会的なスキル**です。そしてこれらの要素は、人と人との関係性の中で活かされ発揮されるべきスキルです。

そのため、個と組織の「と」の部分を重視して、チーム医療の質向上と安全性向上のために活用すべきなのです。次の図はその概念を可視化したものになります。

スライド 3



中心に患者の存在があり、個人とチームはそのために医療を安全に提供することが求められます。また、他職種とのつながり、あるいは他部署とのつながりも重要です。

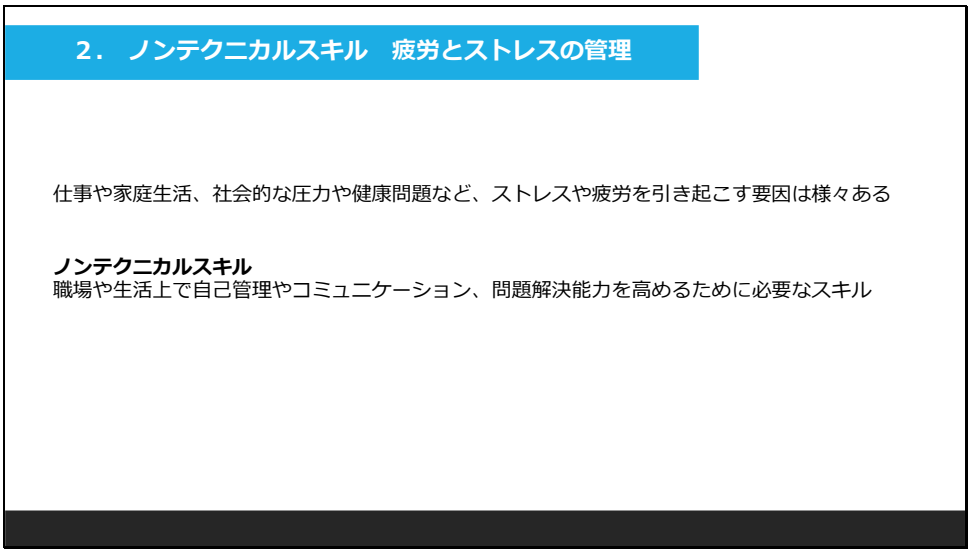
これらの関係性は、ノンテクニカルスキルにおける 4 つのコア能力が主軸にあり、その要素は個人もチームも保有すべきスキルでもあります。そして各々のスキルをマネジメントの力で管理し適切に動かしていくことが大切です。

ノンテクニカルスキルを個人としてもチームとしても向上させる最も重要な問いは、
それを「何のために行うのか」です。

この問いがチームとしての共通認識や価値観の共有ができていなければ、個人のスキルを向上させることができてもチームとしての向上は望めません。

チームとしてのノンテクニカルスキルを向上させるには、ただ向き合うだけでなく、同じ**目的を持って同じ方向を見ることが大切**なのです。

スライド 4

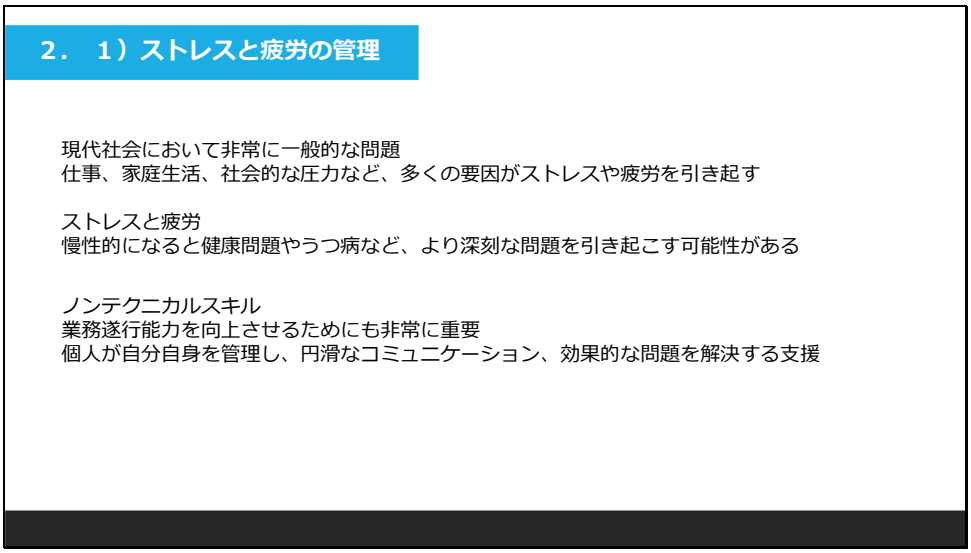


2． ノンテクニカルスキルにおける疲労とストレスの管理

安全管理において、ストレスや疲労の管理は重要な問題です。仕事や家庭生活、社会的な圧力や健康問題など、ストレスや疲労を引き起こす要因はさまざまです。こうした問題に対処するために、ノンテクニカルスキルは重要な役割を果たします。

ノンテクニカルスキルは、先ほども述べたように、人々が職場や生活上で自己管理やコミュニケーション、問題解決能力を高めるために必要なスキルのことです。

スライド 5



1）ストレスと疲労の管理

ストレスと疲労は、現代社会において非常に一般的な問題です。仕事、家庭生活、社会的な圧力など、多くの要因がストレスや疲労を引き起こします。これらの問題は、人々の健康や幸福に大きな影響を与えることがあります。ストレスと疲労は、慢性的になると健康問題やうつ病など、より深刻な問題を引き起こす可能性があります。

また、ノンテクニカルスキルは、業務遂行能力を向上させるためにも非常に重要です。これらのスキルは、個人が自分自身を管理し、周りの人々と円滑にコミュニケーションを取り、効果的に問題を解決することができるよう支援することができます。